

# 平成27年度 自己評価報告書

評価対象期間 自：平成27年4月1日

至：平成28年3月31日

評価基準日 平成28年4月28日

学校法人栗岡学園

阪奈中央看護専門学校

**評価項目の達成および取組状況**

- 1 教育
- 2 施設・設備
- 3 学生サービス
- 4 教育面などでの特筆すべき取り組み

**解答責任者：副校長、看護学科教務主任、准看護科教務主任、事務次長**

# 教育分野 (以下に点検・評価する教育分野の番号を○で囲んでください。)

1 リハビリ (2) 看護

## 1 教育

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. カリキュラムは貴校の教育目標をどのように反映していますか	副: 教育理念・教育目的・教育目標に合わせたカリキュラムである。 准: 教育理念・教育目的・教育目標に合わせたカリキュラムである。 看: 教育課程を意識しながらカリキュラムを吟味している	副: “豊かな人間性を育み、看護の基礎的知識・技術の統合を図り、地域社会の保健医療福祉に貢献できる看護実践者を育てる”という教育理念・目的・目標を教員全員が把握できている 准: 教育理念・目的・目標を4月に再認識している	5 4 3 2 1 + 分 ← つ → 分 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副: 教育理念、目的、目標は変わらないので教員や学生にも折あるごとに説明し、浸透させていきたい 看: カリキュラムと教育内容
2. カリキュラムに卒業後の職場のニーズをどのように反映していますか	副: より臨床に近い環境・技術を考えている。 看: 看護技術習得の強化、コミュニケーション能力の強化	副: 関連施設等と連携を取りながら話し合いをしている。 准: より現場に近いかたちで技術指導する	5 4 3 2 1 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副: 統合実習を行い職場とのギャップが少なくなるよう努力したい
3. 授業科目の学年進捗や時間配分は適切ですか	副: 2・3年間を通じてほぼバランスよく進行している 准: 2年間の中で終わることを主に考えてしまう 看: 講師により前後することはあるが、基礎から応用へを基本に計画している	副: 非常勤講師や隣地実習担当者の都合により学習進度が前後することがある 准: 学外講師と学内教員との時間のバランス(配慮)が問題である 看: 学年ごとにバランスよく配分	5 4 3 2 1 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副: 看護技術の進捗については調整する必要がある
4. シラバス(授業要項)を作成していますか(内容は適切ですか)	副: 看護学科は作成し、内容を参照しながら授業を行っている 准: 作成していない 看: 作成している	副: 科目の進度がわかる 准: 今後作成したいと考える 看: 見直しができいていない	5 4 3 2 1 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副: 定期的に確認し、講師とも話し合いを行いたい 准: 早急に対処する 看: 内容を吟味し、学生に配布できるようにしたい

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
5. カリキュラムの見直し体制はどのようになっていますか	副:各担当教員の意見を聞きながら見直しができている 准:年度毎に、講義実施者と話し合う 看:その都度、年度末	副:教務会で検討しているので、全員が理解できている 准:基礎看護の時間配分など更に検討の余地あり 看:各担当は各自で見直し	5 4 3 2 1 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副:毎学期始め、準備段階で教務会で行っている 看:教員全員で理解してもらう
6. テキストや教材をどのような基準で採用していますか	副・准:講師・担当者と相談しながら決定している 看:学校の教育目標や教科の内容に合わせて採択、講師からの紹介	副:アンケートで指摘されている、使用しない教科書について検討する必要がある 准:副読本などを活用できている	5 4 3 2 1 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副:国家試験出題基準も参考にしたい 看:テキストや教材の吟味
7. 目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか	副:講義・実習終了時に評価を行っている 准:講義時間により、中間評価も入れている 看:講義終了後の終講試験で見直しを意識させている	副:実習評価が次年度に活かされていない 准:中間評価により学生の問題が明確となり、学生が奮起して学習する場合もあり 看:成績評価につなげていく	5 4 3 2 1 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副:教育目標にあったテキスト・教材の採用をしたい 看:学則に基づいて適切に成績評価を行っていく
8. 学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	副:毎回担当講師と担任が学生の様子をみながら対応している 准:学力の差等もあり、理解度にばらつきがある 看:授業準備の中で学生の理解度に合わせ、資料等を準備している	副:細かい打ち合わせを講師としている 准:理解できていない学生は講師、教員への質問をすることによって改善している	5 4 3 2 1 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副:課題を出して到達目標までもっていく 看:学生のレディネスをしっかりと把握し支援したい
9. 学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	副:入学前のテキスト配布、プレテストの実施、学習支援、国試対策、准看資格試験対策 准:模擬試験等で、低得者約10人に対する補習及び学習環境を準備する 看:入学時に基礎学力試験を行い、各学年担任が中心となって課題試験・国試対策を行っている	副:プレテスト、課題提出 准:学生が自主的に学習するためのサポートができていると考える	5 4 3 2 1 副: ○ 准: ○ 看: ○ 事: ○	副:教務会で話し合い、方法・内容等の検討 看:基礎学力試験の活用方法の検討

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
10. マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	副：登下校中のバスの中、道路を歩く時のマナー、トイレの使用方法、制服、髪の色等の指導を行っている 准：制服に似合う髪型、言葉づかい等、指導が必要である 看：全教員が意識して行っている	副：根気よく指導している 准：入学時より指導している	5 4 3 2 1 副：○ 准：○ 看：○ 事：○	副：地域の人にも愛されるような学校をめざす 准：今後も、常時全教員で取り組む 看：今後も徹底したい
11. 教育技術（教育方法）の研修・研究を実施していますか	副：実習振り返り、ケーススタディー発表、学科の発表などに教員全員が参加 准：実習、講義に支障がない限り、業者研修も参加できる、奈良県准看護学校研修に参加 看：春期休暇中に教員自身の技術力アップのため研修を行っている	副：研修会参加、学内で教員間での意見交換をしている 准：奈良県准看護学校研修には全教員で参加 看：継続が難しい	5 4 3 2 1 副：○ 准：○ 看：○ 事：○	副：必要な研修会や研究会に参加できる環境づくりを考えたい 准：もっと積極的に研修、研究を受け、実施したい 看：毎年1回継続して研修及び研究に取り組めるようにしていきたい
12. 学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	副：卒業時アンケートを実施している 准：各教員が終講テスト時などに実施 看：講師ごとに授業評価を行い、学生自身が授業に臨む姿勢を見直し、講師に結果を返却している	副：次年度の授業計画の参考にしている 准：個別に直接的である 看：意見があまり書かれていないが、教員自身もその評価を受けて前向きに取り組んでいる	5 4 3 2 1 副：○ 准：○ 看：○ 事：○	副：引き続き授業評価を行い、教育内容の充実を図る 看：授業評価については記述欄への記入を期待したい

## 2 施設・設備

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. 教室の数や広さ、 附帯設備は適切です か	副:定員に対する規定の面積である 准:トイレが和式のみである、その他には問題なし 看:学生数の割に共有できるスペースが少ない、トイレのタイル劣化 事:鍵のかかるロッカールームがある	副:更衣室・実習室の備品保管室に空調の設備が無い 准:生活様式から、洋式トイレへの希望が多い	5 4 3 2 1 +            不 ←        つ        →        + 分            う            分 副:            ○ 准:                            ○ 看:                            ○ 事:                            ○	副:空調設備の設置要求、保管年数の過ぎた書類は破棄する 准:早急な変更が必要である 看:洋式トイレの設置
2. 図書室を設け蔵書を 適切に揃えていますか (有効に活用されていますか)	副:図書室有。毎年新刊や月刊誌を購入できている 准:よく活用している 看:活用も多くなっている 事:開室時間も長く利用学生が多い。	副:学生の利用者が多く、良い環境である 准:時間的に問題なく図書室利用が可能である 看:活用しやすい環境である	5 4 3 2 1 副:            ○ 准:            ○ 看:                            ○ 事:            ○	副:卒業生や関連施設の職員も利用できるのでは、活用の幅を広げていきたい 准:現在ある書籍も、改訂版等の購入が必要になってくる 看:新しい図書の計画的な購入
3. 実習・実験室の数 や広さ、附帯設備は 適切ですか	副:学生定員数に合ったベッド数であり、広さも規定されたものがある 准:よく活用している 看:適切である 事:必要に応じて物品等の購入ができている	副:両科が使用する洗濯室は、調整してうまく使用できている 准:長期休暇中も学生に開放し、よく利用している 看:よく活用している 事:倉庫が狭い	5 4 3 2 1 副:                            ○ 准:            ○ 看:                            ○ 事:            ○	副:空調の設備ができていない 事:倉庫についてスペースの拡充や実習備品保管庫の空調等の整備が必要である 看:段階的な更新が必要
4. 最新機能を備えた 視聴覚機器や情報機 器は足りていますか (有効に活用してい ますか)	副:必要な機器購入はできている 准:年間1~2度の見学にとどまっている 看:数は充足しているが、古くなってきている 事:視聴覚機器(プロジェクターやパソコン含む)のトラブル	副:関連施設の利用も有り、有効に利用できている 准:学校説明会では役立っている 事:地上デジタル放送に対応できていない	5 4 3 2 1 副:            ○ 准:            ○ 看:            ○ 事:            ○	副:学内実習では有効活用できているが、アフターケアについての改善を考えたい 准:教員の取り扱いの徹底学習 看:新しい情報機器を順次揃えたい

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
5. ニーズに応じた学生寮を保有していますか（有効に活用されていますか）	副：平成28年度より学生寮（女子寮）設置 准：現在のところ活用されていない 事：平成28年度より姉妹校にある学生寮を利用可能	副：環境に問題あり 准：平成28年度より学生寮の利用開始	5 4 3 2 1 副： ○ 准： ○ 看： ○ 事： ○	副：環境問題の解決 看：利用しやすい環境（場所）
6. 体育館や運動場などを保有していますか（有効に活用されていますか）	副：体育館は同一法人の学校に有り 准：学内に講堂があり、行事に使用している 看：関連施設の体育館を利用している 事：運動場は無い	副：関連施設のバス送迎があり、必要に応じて使用することができる 准：軽スポーツ等できる場所が学校周辺にあればさらに良いと考える	5 4 3 2 1 副： ○ 准： ○ 看： ○ 事： ○	副：年に何度か利用しており便利である 看：卓球・バドミントン用具の購入

### 3 学生サービス

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. クラス担任制をとり修学に問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	副：家族にも来校してもらい、本人と共に対応している。 准：学生・家族とよく話し合っている 看：クラスの問題は会議などで共有し、担任のみならず他の教員も関わり対応している 事：教員は時間外での指導も行っている	副：職員全体で適切な対応ができている 准：担任・福担任だけでなく、全員で関わっている点は好ましいと考える 看：問題のある学生対応がスムーズ 事：問題のある学生に対する教員の対応時間が多くなっている	5 4 3 2 1 十 分 副： ○ 准： ○ 看： ○ 事： ○	副：問題を持つ学生が多くなってきており、教職員一同協力し適切な対応をしていく 看：今以上に、学生の状況を把握し対処する
2. 学生に対してカウンセリング（心理相談）を行っていますか	副：臨床心理学が週2回対応 准：教員レベルでも個別に時間をとることは多い 事：臨床心理士と学生及び教員は良好な関係を持っている	副：臨床心理士が昼休みに校内を周って学生に声をかけるなど、安心できる環境である 准：教員と話すうち、ややリラックスできる学生も多い。年齢の幅が大きく、内容が多岐にわたる 事：臨床心理士からお便りを発行してもらっている	5 4 3 2 1 副： ○ 准： ○ 看： ○ 事： ○	准：カウンセラーの学内常駐を希望 看：カウンセラーの存在をアピールし活用していく

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
3. 教室以外に休憩スペースが適当に置かれていますか	2階、3階にラウンジがある	副：ラウンジ利用時話し声が大きくなるさい時がある 准：学年にこだわらず良好な場となっている 看：3クラスで使用するので狭い	5 4 3 2 1 副： 准：○ 看：○ 事：○	副：単位取得者の休憩場所も考えたい。 看：ラウンジのイスを増やす
4. 食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	副：弁当・パンが購入できる 事：学生はラウンジや教室で食べている	副：学生数に比べて場所が狭い。 事：隣接する保育園の屋上を昼休み時間に利用する許可はもらっているが、利用者は少ない	5 4 3 2 1 副： 准：○ 看：○ 事：○	事：もう少しスペースに余裕がほしい 看：学生のニーズを把握し改善策を考える
5. 学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	行っていない	事：関連施設に奨学金制度がある	5 4 3 2 1 副： 准： 看： 事：	
6. その他	副：学生駐輪場が狭い。様式トイレがない			副：駐輪場に屋根が無い場合、雨天時にカップ等を広げる場所が欲しい

#### 4 教育面などでの特筆すべき取り組み(自由記入)

副：【准看護科】フィッシュ哲学を活用した行事を取り入れ、生き生きと行事を企画できる学生、チームワークを強めることができリーダーとなる学生を育てている

【看護学科】卒業生アンケートの中で、この学校で何が誇れるかの問いに「教職員」と半数が答えている。大変嬉しいことである。持続できるようにしたい

看：学生数は現在のところ定員に達しているが、教育施設の増加により定員に満たなくなることも予想される。学校として、教育設備の更新、信頼される教員になるための自己研鑽が引く続き必要である。